

2020年2月28日

当院で急性期脳梗塞の血管内治療を受けられた患者さん・ご家族様へ

研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、日常診療で得られた以下の診療情報を研究データとしてまとめるものです。研究のために、新たな検査などは行いません。この案内をお読みにになり、ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に診療情報を使ってほしくないとのご意思がある場合は、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。

ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】2014年3月～2017年12月の間に、急性期脳梗塞で入院し、血管内治療を受けた方

【研究課題名】広範脳梗塞における血管内治療の臨床的予後の検討

【研究責任者】国立循環器病研究センター 脳血管内科/脳卒中集中治療科 医長 井上 学

【研究の目的】広範梗塞における血管内治療の有効性を調査するため

【利用する診療情報】

年齢、性別、既往歴(高血圧、糖尿病、高脂血症、喫煙、血糖、一過性脳虚血発作の有無、脳卒中の有無、心房細動、発症時脳卒中重症度スケールNIHSS、発症時刻不明の有無、画像検査までの時間、血栓溶解療法(IVT)の有無、IVTまでの時間、来院までの時間、血管内治療の穿刺までの時間、開通率、開通度(TICI)評価、閉塞血管の分類、虚血性コア容積計測方法(CTP、DWI、CT)、虚血性コア容積(cc)、ASPECTS、灌流評価の有無(CTP、MRP)、灌流異常の容積(cc)、血管内治療の手技(ステント/吸引/組み合わせ)、パス回数、症候性頭蓋内出血、24時間後のNIHSSの改善度、3カ月後の日常生活自立度mRS、3カ月後の死亡率、脳梗塞の病型(大動脈アテローム性動脈硬化症、小血管病、心原性塞栓症、その他)

【外部機関への研究データの提供】

上記の診療情報を、匿名化して次の研究機関に提供して、共同で研究を進めます。

・ 共同研究機関及び研究責任者

Sainte Anne Hospital, Paris, France 准教授 Grégoire Boulouis

【研究期間】研究許可日より2020年12月31日まで(予定)

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

【問合せ先】国立循環器病研究センター 脳血管内科/脳卒中集中治療科 井上 学

電話 06-6170-1070(代表)